

青女を思いっきり楽しめ!

青年女性委員会 松井代議員

●青年女性委員会は30歳以下の組織である。1人でも多くの組合員に労働組合の必要性や青年女性委員会の楽しさを感じてもらえるように日々活動をしている。



松井代議員

青女世代から、基本組織の役員に登用していただくのはとても光栄なことであり、やりがいを感じることも自然なことである。しかし、青年女性委員会の役員を経験した組合員が、基本組織で役員をし、若い世代に「青年女性委員会を少しづつ学び・実感していき。もちろんその過程で大変な思いをするかもしれない」と伝える。このサイクルが必要ではないかと考える！そしてこのサイクルによって、基本組織と青女世代の強い繋がりが生まれ、それが組織の活性化に繋がると考えている。JR西労組全体が同じ考えで役員人事を行ってほしい。

創造・参加・実践

全組合員の総団結でこの難局を乗り越え 安全を基礎に未来を切り拓こう!

JR西労組中央本部は、7月20日(月)、ホテルグランヴィア岡山をメイン会場に、5会場で開催された第32回定期中央本部大会を開催した。例年、550名が、一カ所に集結し、2泊3日をかけて、議論を尽くすが、今大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から規模を縮小し、Live形式による半日の開催となった。冒頭、代表挨拶のなかで上村委員長は、新型コロナウイルス感染症に関して、不安を抱えながら公共交通機関としての使命を果たしている組合員に敬意と感謝を述べた。さらに、グループ会社や協力会社を含めた安全の確立、新型コロナウイルス感染症への対応、総合労働協約改訂と2021春期生活闘争への対応、労働組合の意義、組織の充実・強化について、中央本部の見解を示した。本会議では、DVDによる経過報告、羽野書記長の運動方針案提起の後、15名の代議員から、「安全確立」「新型コロナウイルス感染症への対応」などについて熱い発言があった。その後、執行部による答弁、羽野書記長による総括答弁があり、満場一致で運動方針を確認し、上村中央執行委員長の団結ガンバローで締めくくった。

全体質疑

2年後の働く環境の選択に向けて

金沢地方本部 前田代議員



前田代議員

●コロナ対策として、労使ともに各種会議の開催方法(オンラインなど)を検討し進めているが、安全に関して、可能な限り集まって議論をお願いする。
●金沢地本管内での重大事故を忘れない取り組みを継続している。
過去に起きた重大事故の慰霊碑や地方の線区内の慰霊碑に手を合わせ、慰霊除草整備などに取り組んでいく。こういった取り組みを地方内でも共有する場を設けていきたい。
●新型コロナウイルスの第2波3波の対応として、あらゆる立場の組合員が守られる環境作りをお願いしたい。今春闘は、育児をする方に焦点が当てられたが、介護にも手厚い対応をお願いする。
●春闘について、経営状況が良くない現在、今後の給与・賞与、またローン返済に不安という意見が多くある。賃金実態調査の調査項目として、組合員の給与・賞与返済の有無など、実態を把握しておくことにより、交渉の参考になるのではないかと考えている。
●金沢地本として回収率向上に取り組む。
●今年度、金沢地本ライブプランセミナーが中止となった。組合員はライブプランに関心が高く、これまでの開催方法が望ましいが、DVやライブ配信等さまざまな開催方法の検討をお願いする。
●北陸新幹線について、引き続き新たな情報とビジョンの開示を求める。
新幹線については、開業直前になってドタバタすることがないよう、計画通りに養成を進めていきたい。
●金沢地本として、北陸新幹線対策委員会を再開したい。また、福井県に、第3セクター会社・並行在来線準備会社が設立され、今後、出向者が増えることが予想される。各種会議や意見交換に引き続き本部からの参加をお願いする。
●組織について、再雇用を



第32回定期中央本部大会の様子

これは大きな課題であり、中でも人数の少ない女性組合員ではこの傾向が顕著に表れている。
●青年女性委員会は「仲間作り」をモットーに、和気あいあいと自由に議論を交わしながら、行事を作り上げていく。その中で、労働組合の必要性や、やりがい

を少しずつ学び・実感していく。もちろんその過程で大変な思いをするかもしれない」と伝える。このサイクルが必要ではないかと考える！そしてこのサイクルによって、基本組織と青女世代の強い繋がりが生まれ、それが組織の活性化に繋がると考えている。JR西労組全体が同じ考えで役員人事を行ってほしい。

●現在、新型コロナウイルスの影響で活動ができない状況が続いている。今は新型コロナウイルスへの対応に全力で取り組むべきだと思いが収束後には、組合の必要性を青年女性委員会は盛大に発信していきたい。
中央本部からも改めて発信していただきたい。

【各会場と参加地本】

- 〈グランヴィア京都〉福知山地本、京都地本、金沢地本、青女委員会
- 〈グランヴィア和歌山〉和歌山地本
- 〈グランヴィア岡山〉岡山地本、米子地本
- 〈グランヴィア広島〉福岡地本、新幹線協議会、中バス地本、広島地本
- 〈グランヴィア大阪〉神戸地本、西バス地本、本社総支部、大阪地本

今こそ業務の見直しや業務量の削減を

本社総支部 小林代議員



小林代議員

●JR西労組運動の1丁目1番地である安全の取り組みについて、福知山線列車事故を決して忘れず、日々の業務において安全の意識を高め、本社総支部として次代へ繋いで行く取り組みを継続して実施していきたい。
●今回の新型コロナウイルス
に伴い、我々の働き方も大きく変わり、特に業務の優先順位付けが行われた。新しい時代での出来事を前向きに捉え、今こそ業務の見直しや業務量の削減を、JR西労組が主体となって、会社と議論していくべきだと考える。
また、今回行なった様々な制度の緩和措置などについて、課題や改善すべき点などの振り返りをお願いする。本部より回答はいただいているが、「小学校休業等対応助成金」について、対応について申し上げたい。

JR西労組は、春闘時の年間臨給締結に拘って来たが、この危機的な状況下で冬の年間臨給を見直すことはあるのか。本部の見解をお聞かせ下さい。

第32回定期中央本部大会(発言集約)

5会場をLive形式で繋ぎ実施